

# 英彦山 パーフェクトマニュアル



古里 亘

久光 啓介

五藤 久貴

寺田 俊介



# テーマ選択理由：キーワード

テーマ選択に当たってのキーワード  
ターゲットを絞り選定

海外

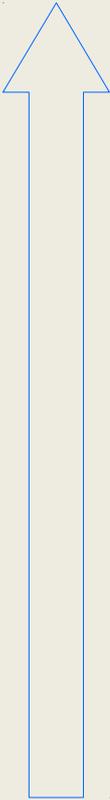
登山ブーム

アクセス

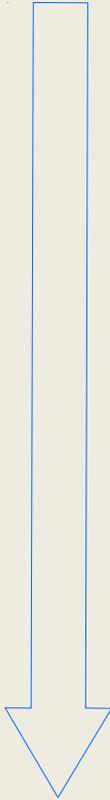
スマートフォン



# テーマ選択理由：対象

- 
- 登山初心者が初めて英彦山に登る時でも楽しめるように
  - 10代～20代の登山初心者を対象

登山初心者

- 
- 英彦山上級者のリピート率の向上
  - コミュニケーションの場を提供することで、英彦山以外への影響を与える

登山上級者



## テーマ選択理由：対象（変更後）

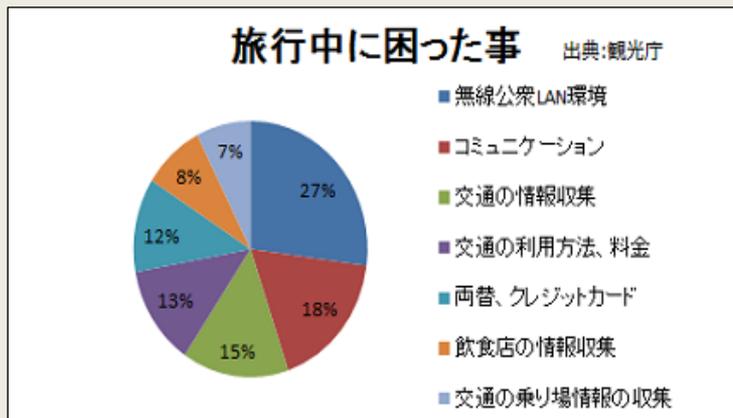
- インターネットに慣れている若者に向けたアプリケーション
- 登山をする上で、便利さを求めたい

- 海外からの観光客を迎える（特に土地的に中韓が有力か）
- 外国人にも扱えるよう翻訳機能、ジェスチャー機能を設ける

登山中・上級者



# テーマ選択理由：外国人への配慮



## 観光庁が発表している外国人が旅行中に困ったことリスト

①外国人を招き入れる場合、携帯電話の回線が利用できない場合があり、**公衆無線LANを設置**する必要性が出てくる。

②日本語がほとんどわからない場合でも**コミュニケーションを取れるようサポート**する必要がある。

②をクリアするとほとんどの

トラブルが解消される



# テーマ選択理由：ジェスチャー機能の例



トイレの場所が分からないぞ！

Case

Where W.C.  
e Hikosan.  
d you  
e a picture.



項目をタップすると？



# テーマ選択理由：ジェスチャー機能の例



外国人向けのコミュニケーションの補助を行う

**グローバル化**につながる

さらに・・・・・・・・



## テーマ選択理由：ジェスチャー機能の例



クーポン券を発行することで、お客への利益と近隣店舗の活性化を行う

これにより**アプリの周知**にもつながる



# テーマ選択理由：体験

## 実際に英彦山に登り感じたこと

- ▶ 休憩所間の距離を知りたい
- ▶ 当日の天気が不安
- ▶ ガイドさん不在で災害が起きた時の危険性
- ▶ 感動を共有したい
- ▶ 近くのお店を知りたい

これらを備えた機能が必要



# アプリの類似と差別化

## ヤママップ



情報量・ユーザ数が非常に多くパソコン、スマートフォンに対応している

日本ユーザ向けなので、翻訳などの海外シェアで差別化を図る

## 富士登山NAVI



富士山限定のナビ。ルート案内や、各ポイントまでの距離を表示することができる

歴史や自然の紹介により、ルート案内以上の情報量を獲得する

# アプリケーション概要 1/5

- 登山における情報紹介
  - 登山初心者をサポート
- GPSを利用し英彦山までの道のりをサポート
  - カーナビがなくても安心
  - 英彦山周辺を細かくサポート
- 英彦山の歴史等を活字で紹介
  - 英彦山の由来
  - 英彦山で咲いている花の名前
  - 英彦山の歴史

# アプリケーション概要 2/5

## ● 英彦山についての音声案内

- 活字の読み上げ
- GPSの位置情報により音声案内が可能？
- ガイドがなくても安心

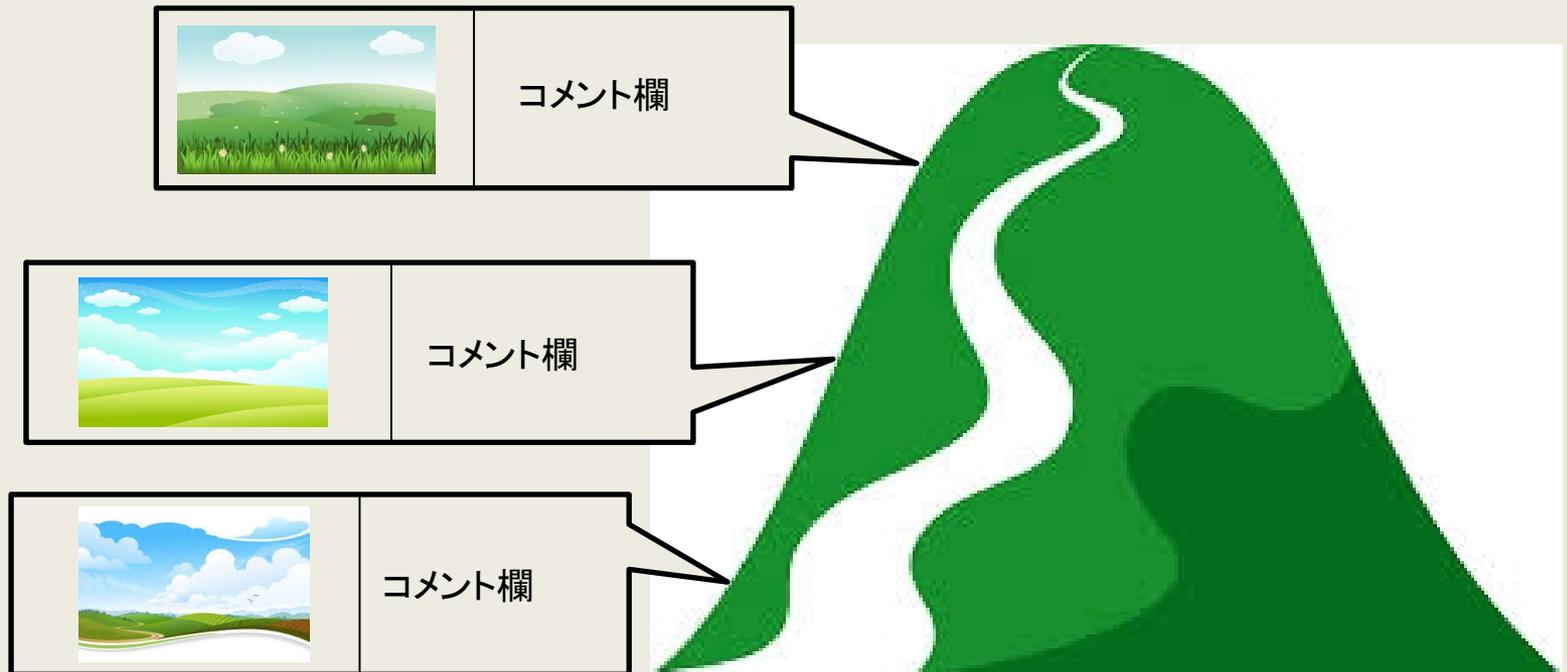
## ● 英彦山の周辺のお店を紹介

- 宿泊施設
- 飲食店
- お土産屋

# アプリケーション概要 3/5

## ● 写真をアップロードすることでオリジナルのMAPを作成

- 写真と一緒にコメント
- 季節ごとに作成
- オリジナルMAPを共有



# アプリケーション概要 4/5

- 英彦山で撮った写真をランキング形式

- 春の部、夏の部…
- 多人数参加型
- 入賞者に景品等

1位	2位	3位
		
170票	70票	35票
コメント欄	コメント欄	コメント欄

# アプリケーション概要 5/5

- 英彦山での思い出を書き込んでみんなで共有

- Twitter形式
- 写真を添付して書き込み可能
- 書き込みに対して返信可能
  - ✓ SNSのようなサービス

- 多言語の導入

- 海外観光客の利用

# アプリケーションの利用(登山前)

現在

- 登山に必要なものを調べる
- 英彦山までの道のりで集合場所を間違える

英彦山に到着



未来

- 登山の心構えを説く
- 英彦山に関する事前情報を取得する
- 英彦山までの道のりを詳しくサポート

英彦山に到着



# アプリケーションの利用(登山中)

現在

- 登山する
- 風景を撮る

登山終了



未来

- 登山しながら英彦山の音声サポート
- 皆と共有するために風景を撮る

登山終了



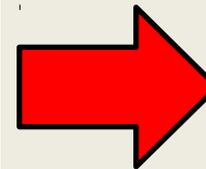
# アプリケーションの利用(登山後)

現在

- 撮った風景を1人、又は友人と共有
- 登山の感想をSNSの日記に書き込み、友人が閲覧

未来

- 撮った風景を皆で共有し、他人からのコメントがもらえる
- 登山の感想を日記に書き込み、英彦山を登った人たちが閲覧
- 自分だけの英彦山マップを作成



新たな  
コミュニティ  
の形成

# HPM実装のメリット

- 英彦山の魅力が詳細に伝わる

- HPMを利用する事で事前の情報収集が可能

HPMでは利用者間でコミュニティーの

- 形成が可能

- 写真等をアップロードし、ユーザー間で共有
- 登山仲間の発見
- 登山に対するモチベーションの増加

# HPM実装後のビジョン 1/2

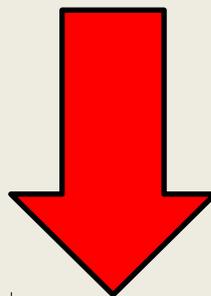
- 英彦山を県外の人たちにもアピール
  - 現在英彦山の詳細を伝える媒体がない
  - アピール不足の現状を打開
- 海外利用客の増加
  - 新たな客層の獲得
  - 海外からわざわざ来る人に満足してもらえるようなサービスの提供

# HPM実装後のビジョン 2/2

- 周辺施設の利用の増加

- 周辺スポットを紹介

- 海外からの利用客に向けて、多言語の看板設置



英彦山に対するサービスの多様化

# 今後の課題 1/2

- 既存のSNSと連携か独自のSNSを開発
  - Facebook、ツイッター等
- アプリを広げる媒体の活用
  - 紙媒体、インターネット、メディア等
- 運営体制の見直し
  - 学生側、町、民間企業に委託

# 今後の課題 2/2

- ビジネスモデルの選択
  - 利益を追求、利益を度外視
- 開発費用や運営費の見通し
  - 町、クラウドファンディング
- 使用者の継続的な利用を支援
  - 付加価値が必要
    - ✓ 添田町、英彦山周辺の天気予報
    - ✓ 周辺の混雑状態の提供
    - ✓ 宿泊施設や食事処の予約
    - ✓ 撮った写真を下山後印刷販売
    - ✓ 添田町物産の通信販売

ご清聴  
ありがとうございました